



Travelogue



Climb every mountain.

マリアはそう唄った。

いや、違ったかなあ。

マリアじゃなくて、、ま、いっか。



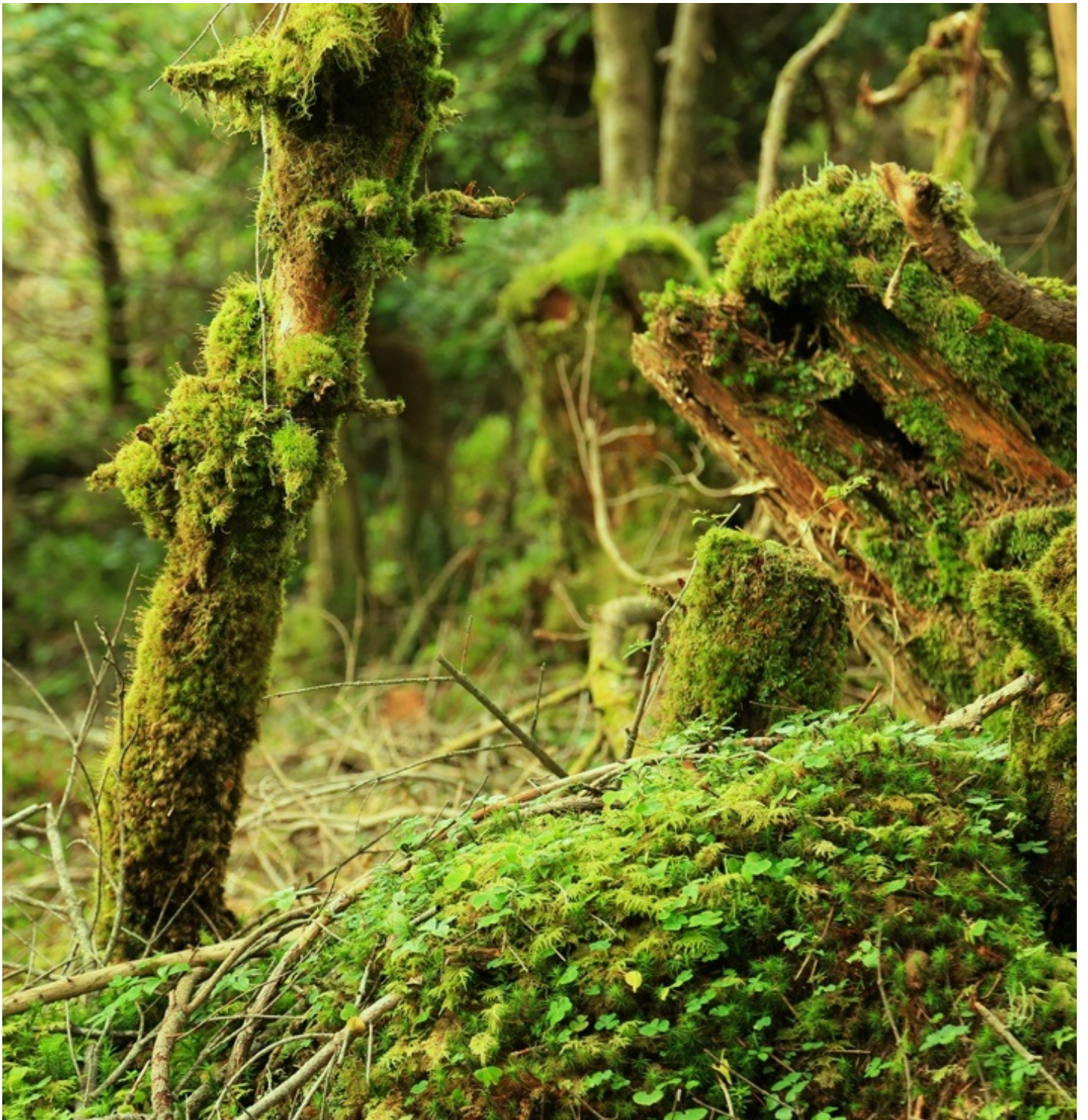
旅先に山があれば、そこに登ることになっている。
例えそれがロープウェイで15分のお手軽コースだろうと、
なんだって構わない。

いや、むしろ大歓迎。



山上には平地では見ることが出来ない
風景が広がっている。
小さくなる家、うねる川、近づく雲。

例え、山頂がさらにその上だったとしても。



苔というこの弱々しげな植物が、
木を浸食していく姿なんぞ、山に入らないと見られない。

これから何十年とかけて、巨大なセルロースの塊は
土に帰って行く。
なんて気の長い話なんだろう。



所々に見られる木の縞状の白化現象が、この山の特徴らしいのだけれど、
植物学者でもないのでいまいち興味がわからない。



割と雲の多い日で、雲の隙間から日が射すと
こんなふうに樹々が光る。

そしてまだ九月だというのに、当たり前のように防寒具が必要。



木が枯れた後の森に光が差し込んで、
茂ったクマザサがキラキラと光っている。

全部が同じ針葉樹林に見えるけれど、所々に広葉樹が
混じっている。

山は厳しくもあり寛容でもある。



この上りは、厳しい。



よく整備された遊歩道とか。

厳しくもあり寛容でもある、、、。



これは、、食べれる茸なんだろうか？
そもそも、何茸？

キノコの世界には、足を踏み入れてはいけない気がする。
戻れなくなりそうな、、、。



中腹に或るロープウェイ乗り場。もちろん降り場でもある。
こういうところで昼食にすると、昭和の時代はカレーかうどんということに
相場は決まっていた物だけど、地元の野菜を使った
スパゲッティとやらが思いのほか美味しくて。

時代は変わったんだなあ。



Clime every mountain! 時間のある限り。

例えそれが、立派な道路の整備された山だとしても。
といわけて、車山高原。



山に雲の影が。



種類なのか、気候のせいかな、高原のススキは丈が短く
穂もこじんまりとしている。



これが高原を覆っていて、逆光の中でキラキラと光っているのだけれど、残念ながら本当の美しさまで写せていないなあ。

もう一度でも三度でも、見に行きたい風景だ。





雲は大きい。山も大きい。
そして、
人の住む世界は小さい。
小さいところに、身を寄せ合って暮らしている。



雲の底が見えなくて。
ほとんど同じ高さに立っているんだろうな。

碧空を目指して、さらに伸び上がる。



何かで見たことがあるような、、、



マツムシソウ。
初めて見た。

雑草カメラのスイッチが入ってしまった。



夕方の、うっすらとオレンジがかった光が
奇麗に透過して行く。



気象レーダー



ヤマハハコ

こ、これは可愛い。まだまだ知らない野草があるんだなあ。



いいなあ、ヤマハハコ。



ずっと歩いて行きたくなる。
あの小さな林とか、稜線の向こうとか。





ワレモコウ

子供の頃、お月見の時に、ススキとかあとなんだっけ、
秋の草を採りに行って飾ったものだけど、いつもワレモコウが
なかなかみつけれなくて。

だからこの花をみると、無条件に懐かしい気持ちがわいてくる。





もっと近くまで行ってみれば良かった。
気象レーダー。

何があるというのでもないんだろうけど。



こんなに斜めなのに、まっすぐ生えるんだ。



ここも、もう一度来てみたい。

Flower Garden	http://p.booklog.jp/book/90605
Travelogue _ ep.04 蓼科へ	http://p.booklog.jp/book/90182
passer un après-midi 9 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/89673
Monochroque	http://p.booklog.jp/book/89380
passer un après-midi 8 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/88976
passer un après-midi 7 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/88761
空と菖蒲と、蓮と	http://p.booklog.jp/book/88600
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3	http://p.booklog.jp/book/88419
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2	http://p.booklog.jp/book/88206
Travelogue _ ep.03 近つ淡海	http://p.booklog.jp/book/87975
passer un après-midi 6 午後の過ごし方	http://p.booklog.jp/book/87771
Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」	http://p.booklog.jp/book/87552
「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/87350
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」	http://p.booklog.jp/book/87057
Photo 「花水硝」	http://p.booklog.jp/book/86821
「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86636
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」	http://p.booklog.jp/book/86313
「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86112
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」	http://p.booklog.jp/book/85799
「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/85513
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」	http://p.booklog.jp/book/85209
「passer un après-midi 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/84911
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」	http://p.booklog.jp/book/85209
「Travelogue ep.02 桜巡り」	http://p.booklog.jp/book/84667
「黄金の麦畑」	
1.Largo	http://p.booklog.jp/book/58662
2.Allegro molto	http://p.booklog.jp/book/83865
3.Adajo (連載中)	
「黄昏の王国」	

イーリアス編

<http://p.booklog.jp/book/49612>

アリシア編

<http://p.booklog.jp/book/51254>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」

<http://p.booklog.jp/book/84165>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」

<http://p.booklog.jp/book/83952>

「Travelogue ep.01」

<http://p.booklog.jp/book/83694>

Photo 「Hina」

<http://p.booklog.jp/book/83499>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」

<http://p.booklog.jp/book/82880>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」

<http://p.booklog.jp/book/82643>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」

<http://p.booklog.jp/book/82160>

Photo 「からくれないに ni」

<http://p.booklog.jp/book/81713>

Photo 「bleu, jaune, vermillion」

<http://p.booklog.jp/book/81111>

Photo 「H.45」

<http://p.booklog.jp/book/80229>

Photo 「Fly me to Paris I ～XIV」

Photo 「祇王 こけのころも」

<http://p.booklog.jp/book/74864>

Photo 「空と雨と6月と」

<http://p.booklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」

「ネガティブズ」

<http://p.booklog.jp/book/73051>

Photo 「空と僕と自転車とni」

<http://p.booklog.jp/book/72996>

Photo 「空と僕と自転車と」

<http://p.booklog.jp/book/72092>

Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」

<http://p.booklog.jp/book/71344>

Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」

<http://p.booklog.jp/book/70700>

Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」

<http://p.booklog.jp/book/70137>

Photo 「空と月と、夜桜デート」

<http://p.booklog.jp/book/69415>

Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」

<http://p.booklog.jp/book/68722>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」

<http://p.booklog.jp/book/65536>

Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」

<http://p.booklog.jp/book/64153>

Photo 「空と木とたまに月」

<http://p.booklog.jp/book/62540>

Photo 「からくれないに」

<http://p.booklog.jp/book/61473>

Photo 「空と雲と、ときどき月」

<http://p.booklog.jp/book/36294>

Photo 「夢みる桜」

<http://p.booklog.jp/book/45286>

— 僕カノシリーズ —

- 「僕が彼女に殺された理由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/31906>
- 「僕と彼女の選択の事由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/35498>
- 「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>
- 「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>
- 「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>
- 「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.booklog.jp/book/37731>
- 「僕と彼女と校庭で」 <http://p.booklog.jp/book/38409>
- 「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.booklog.jp/book/38977>
- 「僕と彼女のアリア」 <http://p.booklog.jp/book/46524>
- 「僕と彼女のインベンション」（次回）

— その他 —

- 傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>
- 夕暮れの赤ちょうちん <http://p.booklog.jp/book/42024>
- いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>
- サマータイム・ブルース <http://p.booklog.jp/book/34054>
- 危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>
- デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>
- インフルエンス あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>
- 花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>
- 詞画集「ただ憧憬だけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>
- 画集 「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>